

TAD

TECHNICAL AUDIO DEVICES LABORATORIES, INC.



SPEAKER SYSTEM Grand Evolution One TAD-GE1

TAD Grand Evolution One 仕様

■正式型番/TAD-GE1 ■型式/3ウェイ位相反転式 フロア型 ■ドライブレユニット/●ウーファー:18 cmコーン型 ●ミッドレンジ/トウィーター:同軸14 cmコーン型/3.5cmドーム型 ■パフォーマンスデータ/●再生周波数帯域:27 Hz~100 kHz(-10dB) ●クロスオーバー周波数:250 Hz, 1.8 kHz ●最大入力:250 W ●出力音圧レベル:88 dB(2.83 V, 1 m) ●定格インピーダンス:4 Ω ●ユニット極性:低域(+), 中域(+), 高域(+)
■その他/●質量:64 kg(1台) ●外形寸法:394 mm(W)×1212 mm(H)×547 mm(D) ■付属品/ウーファーグリル×2、ショートケーブル×2、コーン型スパイク×3、転倒防止スパイク×2、スパイク受け×3、クリーニングクロス、オーナーズマニュアル

▲安全に関するご注意

正しく安全にお使いいただくため、ご使用前に必ず「取扱説明書」をお読みください。●水、湿気、湯気、ほこり、油煙などの多い場所に設置しないでください。火災、感電、故障などの原因となることがあります。●地震などでの製品の転倒・落下によるけがなどの危害を軽減するために、設置に関しては取扱説明書に従って必ず行ってください。

*本機は重量がありますので、設置場所の床の強度が十分でない場合はあらかじめ補強工事が必要となる場合があります。

●カタログに掲載されている製品には保証書が添付されています。お買い求めの際は購入年月日など所定事項が記入されているかご確認の上、大切に保存してください。補修用性能部品の最低保有期間は、製造打切後8年です。●製造番号は品質管理上重要なものです。ご購入の際には製造番号をご確認ください。●外形寸法はツマミ、端子などを含んだ最大外形寸法です。

お客様サポート

<http://tad-labs.com/jp/support/>

カタログや取扱説明書のダウンロードなどの商品サポート情報のホームページです。

●このカタログに掲載の仕様および外観は改善のため予告なく変更することがあります。●写真の製品の色は、印刷により実際の色とは異なって見える場合があります。●ハガキによるカタログの請求は希望商品名をご記入の上、〒113-0021 東京都文京区本駒込2-28-8 文京グリーンコート パイオニアカスタマーサポートセンターへ。●ホームページにもカタログの請求受付を行っております。本カタログに記載の価格には、配送費・据付費・使用後の商品引きとり代金などは含まれておりません。

株式会社 テクニカル オーディオ デバイセズ ラボラトリーズ
〒113-0021 東京都文京区本駒込2-28-8 <http://tad-labs.com>
©TECHNICAL AUDIO DEVICES LABORATORIES, INC.

このカタログの記載内容は2023年10月現在のものです。
ZDF015

TAD

Evolution Series



SPEAKER SYSTEM Grand Evolution One

革新の先の王道へ。

革新と王道。
音楽の真の姿をひたすらに追い求める
TADの二つの道が、今、一つになる。
世界中のオーディオファイルから
「音ではなく、音楽が聴こえる」と
評されるTADサウンドの伝統を継承しながら、
革新の極みへ臨むTAD-GE1。
音像と音場の高次元の両立・融合が生み出す、
実体感に満ちた有機的な三次元音場空間は、
音楽家の想いをありのままにそのままに再現し、
時空を超えた感動で聴くものを包み込む。
TAD-GE1 —— 革新の新たな頂点は、王道の境地へ。

一切の妥協を許さず、TADの技術を惜しみなく凝縮。
音も佇まいも、すべてが新しいフロア型スピーカー登場。

自然で鮮明な中高域再生を実現

ありのままの音を再現するために、音源位置をいかに集中させるか。そのためにTADが生み出した独創の「CST*ドライバー」を採用。ミッドレンジとトゥイーターを同軸に配置することで指向特性を一致させ、音の乱れを徹底的に排除。さらにトゥイーターにはR1TXやCR1TX同様、独自の蒸着法で成形したベリリウム振動板を採用。ミッドレンジにはマグネシウム振動板を採用し、歪の少ない澄み切った中域を実現。このCSTドライバーで250Hzから100kHzまでのきわめて広い帯域にわたり、安定性に優れた音像定位と自然な音場空間をもたらします。

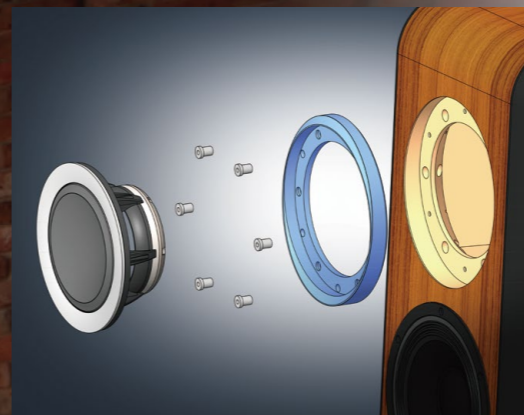
※CST=Coherent Source Transducerの略語。



豊かで伸びのある中低域再生を実現

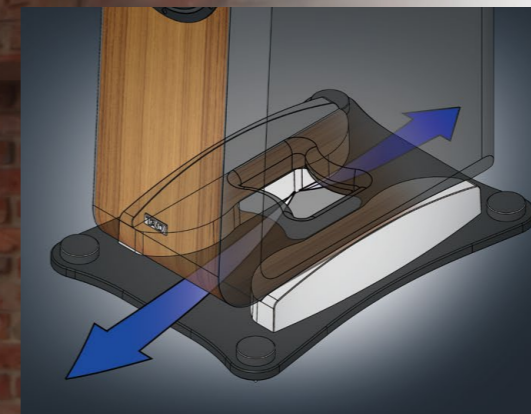
理想的な振動特性を追求し、織布と不織布を5層にラミネートした「MACS II*振動板」による18cmウーファー。センターキャップとコーンを一体化したシェル(殻形状)振動板、大型ネオジウムマグネットの強力な駆動力を余さず伝えるクレードル型の背面形状、空気の乱流を抑えるユニット背面のエアロダイナミクスデザイン、TADプロユニットで使用しているダンブ剤塗布コルゲーションエッジなどの採用により、豊かで歪のないクリアな低音を再生すると同時にカラレーションのない素直な中低域の再生を実現します。

※MACSII=Multi-layered Aramid Composite Shell(2nd generation)の略語。



正確なディテールを描き出す

CSTドライバーの持つパフォーマンスを最大限に引き出し、正確な波形再生を実現するために、機械的な振動の伝達を軽減する「ISO (Isolation)ドライブテクノロジー」を採用。この独自のマウント構造によりCSTドライバーをエンクロージャーから機械的にアイソレートすることで、低域の強大な振動から解放。さらに、強力なドライブ能力を持つCSTドライバー自身によるエンクロージャーの励振を防ぐことで二次的な輻射音を低減し、音に濁りのないクリアな空気感までも再生することを可能にしました。振動板から放射される音だけを正確にリスナーに伝え、理想的な点音源再生に近づくことで、微妙に変化する音色や音の強弱まで精密に音のディテールを描き出します。



自然で豊かな低域を実現

革新的なアプローチにより理想とする音を目指した「Bidirectional ADP*システム」を搭載。エンクロージャーの底部にポートを配置し、開口部を前後へレイアウト。そのポート内部をホーン形状とすることで、ポートノイズを低減した効率のよいポート駆動が可能になり、クリアでレスポンスのよい中低音を実現します。また、ポートフレアにはアルミダイキャストを使用するとともに、ポートを前後の対称レイアウトとすることで、エンクロージャーを振動させる力を打ち消し、豊かで力強い低域を再生します。さらに、15mm厚のアルミベースプレートを採用することで、安定した設置を可能にし、強力な駆動力を持つウーファーのリアクションをしっかりと受け止めます。

※ADP = Aero Dynamic Portの略語。

音像定位と音場表現を両立

トゥイーター用・ミッドレンジ用・ウーファー用の独立した3つの基板Assyは、各々の干渉を最小にするため距離を離してエンクロージャー内部に設置されています。また、すべてのネットワークフィルターは、エンクロージャー背部に格納することで本体エンクロージャーとは音響的にアイソレートされており、ウーファーやCSTドライバーのキャビネット内部の高い音圧の影響を受けない設計としました。ネットワークフィルターの各素子を音響的に励振することなく設置することで、音場感や音像の立体的な再現性を向上させ、濁りのない透明感あふれる音楽再生を実現しています。

